

<調査結果報告>

三重県内企業の業況感、24年度下期はほぼ横ばいで2期連続のマイナス、25年度上期はやや上向き見通し

弊社では、企業経営者からみた景気の動向を把握するため、三重県内の事業所を対象に半年ごとに景気見通しの調査を行っています。1月に実施した調査結果を取りまとめましたので報告します。
※詳細は、『景況調査 No.181』をご参照ください。

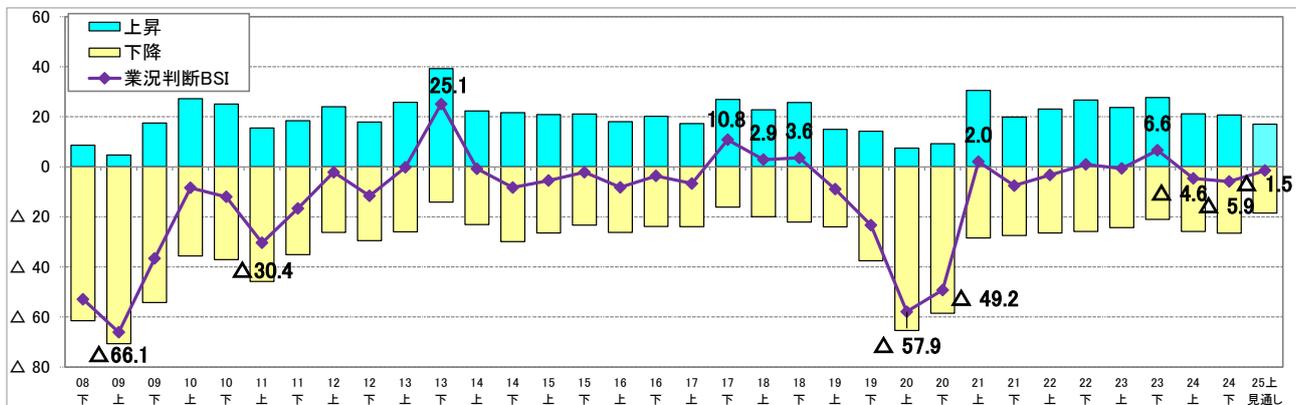
【担当】株式会社百五総合研究所 地域調査部 谷ノ上（たにのうえ）

三重県津市岩田 21 番 27 号 TEL059-228-9105、080-6961-5358

三重県内の企業の業況判断BSI（「自社の属する業種の景気」が前年同期と比べて「上昇」と答えた企業の割合から「下降」の割合を引いて指数化したもの）は、2024年度下期（今期、実績見込み）は△5.9となり、24年度上期（前期、△4.6）とほぼ横ばいで2期連続のマイナスとなった。25年度上期は△1.5となり、マイナス幅は縮小しやや上向き見通し。

業種別にみると、製造業は、今期△16.1と2期連続の2桁マイナス、来期は△6.5と改善するもののマイナス圏を脱せない見通し。非製造業は、今期+3.1と6期連続のプラス、来期も+3.9とほぼ横ばいで推移する見通し。

■図表① 業況判断BSIの推移



★「BSI」=（景気は上昇とみる事業所数－景気は下降とみる事業所数）／有効回答事業所数 ×100
ビジネス・サーベイ・インデックスの略称。ここでは前年同期と比べた「上昇」「下降」の変化方向を示す。

【調査の概要】

- 調査対象： 三重県内の事業所 1,041 先（回答 461 先／回答率 44.3%）※本文では企業と表記
- 調査時期： 2025年1月上旬～1月下旬
- 調査方法： アンケート票送付・webアンケート
- 調査対象期間：2024年度下期（24年10月～25年3月）実績見込み
2025年度上期（25年4月～9月）見通し

※「24年度上期」＝前期、「24年度下期」＝今期、「25年度上期」＝来期 と表記。

※「大・中堅企業」は資本金1億円以上。「中小企業」は資本金1億円未満＋個人事業。

※「大・中堅企業」13.2%、「中小企業」86.8%。

【調査結果の要旨】

- 三重県内企業の「業況判断 BSI」（前年同期比、自社の属する業種の景気）は、2024 年度下期（今期、実績見込み）は $\Delta 5.9$ となり、24 年度上期（前期、 $\Delta 4.6$ ）とほぼ横ばいで 2 期連続のマイナスとなった。
- 25 年度上期（来期）は $\Delta 1.5$ となり、マイナス幅は縮小しやや上向く見通し。

【図表①・②・③】

- 業況判断 BSI を業種別にみると、

【図表②・③】

製造業は、今期（ $\Delta 16.1$ ）は 2 期連続の 2 桁マイナス。来期（ $\Delta 6.5$ ）はマイナス幅縮小。

- ・ 今期、前期から最も低下したのは一般機器（ $+6.9 \rightarrow \Delta 22.6$ ）である。また、前期よりは改善したものの、電気機器（ $\Delta 30.4$ ）、その他製造（ $\Delta 26.5$ ）、輸送用機器（ $\Delta 12.9$ ）は 2 桁マイナスが続いた。
- ・ 特にこれらの業種では、23 年度下期、24 年度上期に発覚した一部の自動車メーカーの認証不正問題による生産・出荷停止からの回復の遅れやそれに伴う開発の遅れ、また、中国を中心に、欧州も含めた海外景気減速による影響が目立った。
- ・ 来期は、自動車の認証不正問題からの挽回生産を見込む一方、米国の関税政策や中国欧州経済、EV など脱炭素の行方の不透明感により、製造業全体では $\Delta 6.5$ と、改善するもののマイナス圏を脱せない見通し。

非製造業は、今期（ $+3.1$ ）は 6 期連続プラスでほぼ横ばい。来期（ $+3.9$ ）もほぼ横ばい。

- ・ 観光・宿泊（今期 $+34.6$ 、来期 $+23.1$ ）が客数増や客単価上昇などによる増収増益傾向で今期・来期ともに大幅なプラスとなったほか、サービス（ $+7.8$ 、 $+13.7$ ）が飲食店やクレジットカード、ビルメンテナンス、人材派遣など対個人、対事業所ともに好調。
- ・ 来期も、非製造業全体で $+3.9$ のプラスとなり、ほぼ横ばいで推移する見通し。

- 自社の収益を中心とした業況判断 DI（水準）は、全体で 25 年 1-3 月が $+14.1$ に低下したが 2 桁プラスで、来期（4-6 月 $+16.2$ 、7-9 月 $+18.1$ ）は徐々に上向く見通し。 【図表参考】

※「業況判断 DI」は、「自社の収益を中心とした業況」について、「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いたもの。

- 設備投資を実施する企業割合（投資額 500 万円以上）は今期 46.4%となり、前期（46.8%）とほぼ横ばい。6 期連続でコロナ感染拡大前の 19 年度下期（44.7%）を上回る高水準で推移している。来期は 50.2%に上昇の見通しで投資意欲は高い。 【図表④】

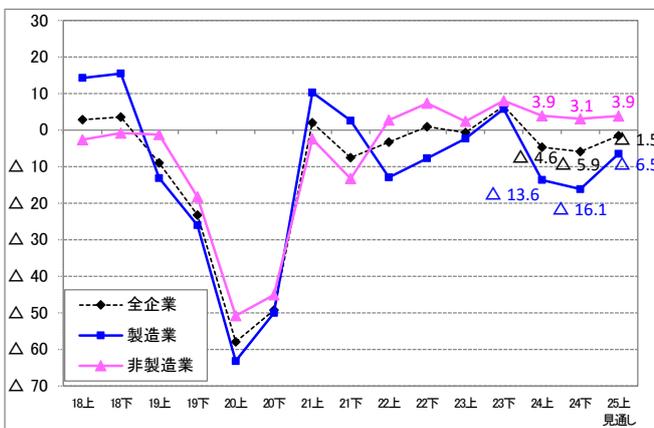
■図表② 業況判断BSI<業種別・企業規模別>の推移

(前回調査時点)

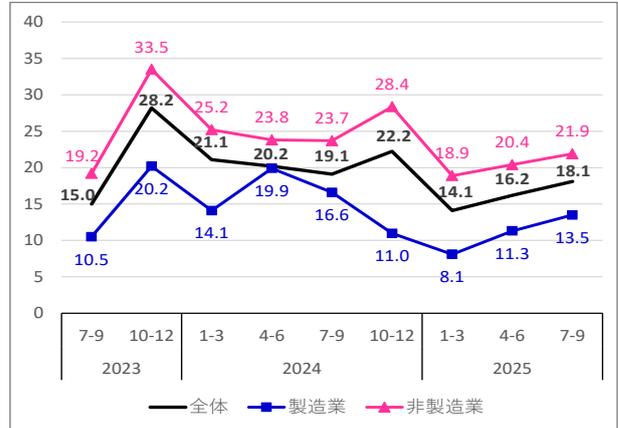
		20下	21上	21下	22上	22下	23上	23下	24上	24下 (見通し)	24下	25上 (見通し)
全企業		△ 49.2	2.0	△ 7.5	△ 3.3	0.9	△ 0.7	6.6	△ 4.6	△ 2.4	△ 5.9	△ 1.5
規模別	大・中堅企業	△ 47.2	35.3	△ 4.0	0.0	△ 3.8	△ 3.6	24.5	30.9	12.7	13.1	3.3
	中小企業	△ 49.5	△ 2.3	△ 8.0	△ 3.7	1.6	△ 0.3	4.3	△ 9.5	△ 4.5	△ 8.8	△ 2.3
業種別	製造業	△ 50.0	10.3	2.6	△ 12.9	△ 7.7	△ 2.3	5.8	△ 13.6	△ 2.8	△ 16.1	△ 6.5
	食料品	△ 40.0	△ 21.4	△ 18.5	△ 4.0	3.8	19.0	20.0	4.5	0.0	△ 8.3	△ 4.2
	繊維	△ 75.0	62.5	△ 16.7	△ 75.0	△ 50.0	△ 20.0	△ 33.3	△ 40.0	△ 20.0	△ 25.0	0.0
	印刷	△ 88.9	10.0	△ 14.3	16.7	△ 50.0	0.0	16.7	△ 16.7	△ 50.0	△ 42.9	△ 28.6
	石油・化学	△ 61.5	10.0	44.4	25.0	20.0	23.1	8.3	12.5	6.3	23.5	11.8
	窯業・土石	△ 38.5	△ 9.1	10.0	△ 21.4	△ 18.2	12.5	6.7	△ 25.0	12.5	△ 6.7	20.0
	一般機器	△ 71.4	22.2	△ 5.6	△ 7.1	△ 14.7	△ 6.1	0.0	6.9	10.3	△ 22.6	△ 12.9
	電気機器	△ 37.5	7.1	6.7	0.0	0.0	△ 26.1	△ 5.0	△ 38.1	0.0	△ 30.4	0.0
	輸送用機器	△ 38.5	41.2	8.7	△ 42.9	△ 16.7	△ 4.0	26.7	△ 15.6	△ 3.1	△ 12.9	△ 16.1
	その他製造	△ 48.9	△ 6.3	10.5	△ 15.4	△ 2.9	△ 10.3	△ 11.8	△ 31.0	△ 20.7	△ 26.5	△ 14.7
	大・中堅企業	△ 46.2	50.0	4.5	△ 11.5	△ 3.8	8.3	15.4	32.0	20.0	△ 3.6	0.0
	中小企業	△ 50.7	3.5	2.3	△ 13.2	△ 8.3	△ 4.0	4.1	△ 21.2	△ 6.6	△ 18.4	△ 7.6
	非製造業	△ 45.1	△ 2.4	△ 13.2	2.7	7.4	2.4	8.0	3.9	1.6	3.1	3.9
	建設	△ 34.7	△ 11.1	△ 16.9	△ 7.7	△ 6.1	△ 15.4	8.0	9.5	△ 3.2	△ 6.1	△ 7.6
	不動産	△ 53.8	△ 44.4	△ 20.0	△ 11.1	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	23.1
	卸売	△ 56.0	△ 4.2	△ 7.7	0.0	7.1	△ 6.9	7.4	△ 5.6	△ 8.3	0.0	△ 3.0
	小売	△ 21.4	2.6	△ 48.6	△ 17.1	0.0	32.5	0.0	△ 9.5	△ 4.8	△ 7.5	0.0
	運輸・倉庫	△ 73.3	3.0	△ 11.1	△ 23.3	0.0	△ 15.6	25.9	16.7	26.7	6.9	0.0
	観光・宿泊	△ 78.3	9.1	△ 8.3	64.3	88.2	50.0	23.5	14.3	4.8	34.6	23.1
	サービス	△ 39.6	6.0	15.6	17.3	8.9	0.0	2.0	0.0	0.0	7.8	13.7
大・中堅企業	△ 48.1	22.2	△ 10.7	9.7	△ 3.8	△ 12.9	34.8	30.0	6.7	27.3	6.1	
中小企業	△ 44.7	△ 5.4	△ 13.6	1.8	8.8	4.6	5.0	0.4	0.9	△ 0.4	3.6	
地場産業	△ 82.1	△ 6.7	△ 16.0	4.0	5.6	△ 19.2	0.0	△ 31.8	△ 45.5	△ 31.3	△ 31.3	
製材	△ 33.3	25.0	28.6	12.5	△ 28.6	△ 75.0	△ 42.9	△ 44.4	△ 44.4	△ 33.3	△ 50.0	
真珠養殖	—	△ 100.0	—	100.0	100.0	—	100.0	—	—	—	—	
真珠加工販売	△ 100.0	0.0	0.0	△ 25.0	25.0	25.0	20.0	△ 33.3	△ 33.3	△ 100.0	△ 100.0	
銑鉄鋳物	△ 100.0	100.0	△ 100.0	△ 100.0	—	△ 50.0	50.0	△ 66.7	△ 66.7	50.0	50.0	
萬古焼製造	△ 100.0	0.0	△ 40.0	0.0	0.0	0.0	△ 66.7	0.0	△ 100.0	—	—	
萬古焼卸売	△ 90.0	△ 36.4	△ 37.5	14.3	25.0	11.1	25.0	0.0	△ 33.3	△ 33.3	△ 16.7	

※地場産業と繊維、印刷、印刷はサンプル数が少ないため指数の振れに注意する。—は回答がなかったことを示す。

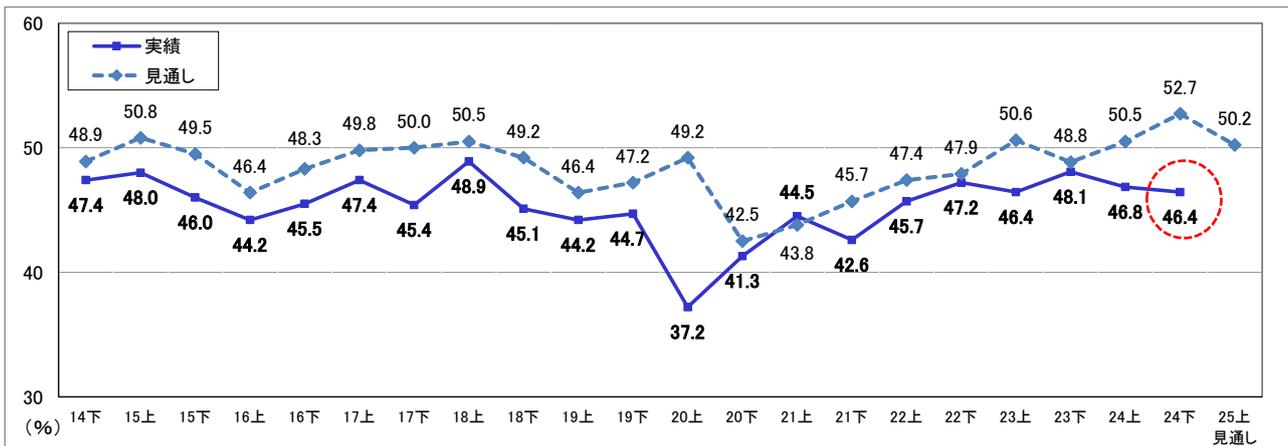
■図表③ 業況判断BSIの推移(業種別)



※参考：業況判断DI(水準、自社の収益を中心とした業況)



■図表④ 設備投資実施企業割合の推移 (投資額500万円以上)



以上